

～ 腎不全看護に携わる皆様へ ～

「第1回 日本フットケア・足病医学会 富士山セミナー」のご案内

腎不全患者では、腎不全そのものによる動脈硬化だけでなく、腎不全に至った糖尿病などの原疾患、加齢や他の生活習慣病が重なり、動脈がむしばまれます。特に、糖尿病性腎障害による腎不全患者では、神経障害や視力障害なども複雑に絡むことによって足や命を失いやすくなります。

そのような現状を憂慮し、「下肢切断を防ぐためのフットケア」を願う下肢救済専門家らの声が国に届きました。2016年度診療報酬改定において、透析室が全ての人工透析患者の足を日常的にチェックし、重症度の高い虚血がみられる患者をスクリーニングして、下肢救済を行う専門病院へ紹介することで算定が可能となる「下肢抹消動脈疾患指導管理料」が新設されました。

「フットケア」というと、爪きりやタコ削り、足浴・保湿をイメージする医療従事者もおりますが、それだけでは透析患者の足を救

うことはできません。重要なのは患者の足に起こっていることを観察し、特に血流に関して評価することと、適切なケアに対するアドバイスや治療を受けられる病院へ紹介することです。

現場では、「具体的にどこから始めたらいいのかわからない」「足をみる時間が十分にとれない」「家でのケアがあやしい」「医師や専門家に相談するタイミングは?」「加算をどのように算定したらいいの?」などの疑問を抱えることもあるでしょう。

本セミナーでは、「糖尿病・腎不全患者の足を限られた時間と場所でみる工夫」「自宅でのセルフケアについて患者に伝えるべきこと」「危険な足や傷の見分け方」「外来の具体的な運営方法や連携の工夫」などを学べる総論的な講演や、ライブ・ワークショップをご用意しています。

明日から生かせる知識や考え方が身に付き、人脈も得られる本セミナー。奮ってご参加ください。会場で皆様にお会いできることを楽しみにしています。

(慢性腎臓病療養指導看護師資格 6ポイント申請中)

第1回 日本フットケア・足病医学会 富士山セミナー 会長 花田明香

花田明香 (Hanada Sayaka) ・プロフィール

2000年、山口大学医学部卒業。6年にわたり心臓外科医としての初期教育を受けた後、2006年より血管外科医として透析グループに勤務。足とその歩行を守るための多職種チーム「はながたみ」を立ち上げ、糖尿病・透析患者を中心に多くの下肢救済に携わる。2017年より新富士病院外科診療部長兼血管外科センター長。2018年、静岡県東部ハンズオンセミナーを立ち上げ、フットケア指導士、脈管診療技師、理学療法士、義士装具士らと共に、足を見立て危険度を知るための具体的な方法を広めている。

◆腎不全患者のフットケアに関わる主たる講演履歴

「血管外科医が伝授するフットケア」(2015年11月・愛知) / 「糖尿病・透析患者の足にひそむ危険とその対処法」(2018年9月・静岡他) / 「透析室で見逃してはならない虚血のサイン」(2018年11月・三重) / 「これからはじめるフットケア」(2018年12月・愛知) / 「足を解く～血管外科医からフットケアナースへ～」(2019年3月・大阪)



虚血肢の足。傷はなく血行再建は不要だが、透析室でのフットチェックと専門外来のフォローアップが必要。



重症下肢虚血。靴とあたってできた傷。足を守るためには多科での連携が必要。

「第1回 日本フットケア・足病医学会 富士山セミナー」概要

●会期——2019年9月7日(土)・8時55分～18時05分

●会場——コンベンションぬまづ (プラザ ヴェルデ)

TEL : 055-920-4100

静岡県沼津市大手町1丁目1-4 (JR沼津駅北口より徒歩3分)

●参加登録費 (当日)

参加区分		当日登録
医師・企業	会員	10,000円
	非会員	11,000円
コメディカル	会員	8,000円
	非会員	9,000円
学生 (学生証提示)		2,000円

●参加方法

事前参加登録の受付は終了しました。当日参加をご希望の方は、セミナー当日、会場となるコンベンションぬまづ (プラザ ヴェルデ)・1F ホワイエ「参加登録受付」までお越しください。登録受付は8時15分～17時となります。

◆セミナー内容・およびテーマ

テーマは「The Team work - Let' s climb to the Mt.Footcare with the map -」。フットケアを登山に例えれば、頂上には「患者の足を守り、歩行を守り、その人らしい人生をまっとうすること」があります。そこに到達するためには、足をみる人々がフットケアに関する十分な知識と経験を持ち、チームワークを重視することが大切です。本セミナーではフットケアに関わる多様な職種の方をお招きし、医療従事者はもちろん非医療従事者にも役立つ講演・企画・展示を行います。

◆日本フットケア学会について

フットケアは元々、日常の大半を靴で過ごす欧米で発達した「足の医学」です。近年の日本において、フットケアはチーム医療として取り入れられると共に、患者のQOL (クオリティ・オブ・ライフ) と医療の質の向上、医療の効率化を追求するための効果的な医療手段として注目を浴びるようになりました。それを受けて、チーム医療によるフットケアの正しい知識の啓蒙・普及を目指し、2003年10月に「日本フットケア学会」が設立されました。

2019年7月1日、当学会は「日本下肢救済・足病学会」と合併し、「日本フットケア・足病医学会」が新設されました。